

取扱説明書



注文コード:26327176

大型液晶モニター付きスコープ

このたびは、大型液晶モニター付きスコープをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

この表示内容が無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

⚠ 注意

この表示内容が無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

■ ご使用上の注意

⚠ 警告

- 人体や動物の体腔内観察には絶対に使用しないでください。人や動物が死亡、または重傷を負うおそれがあり危険です。
- 危険物、爆発物のある場所では使用しないでください。爆発事故や火災の原因となり危険です。
- 機械などの整備で使用するときは、機械を必ず停止してください。巻込まれるなどして思わぬ事故の原因になります。

⚠ 注意

- 分解、改造は絶対におこなわないでください。また、本体の水洗いも絶対にしないでください。
- 過度な衝撃や振動をあたえないでください。故障の原因となります。
- 高温多湿、直射日光の当たる場所、車内での放置はしないでください。故障の原因となります。
- カメラのレンズ部を太陽や強い光源に向けたり、チューブ部を高い水圧に長時間さらしたりしないでください。
- 使用温度範囲を超える環境にある検査対象物にカメラを入れないでください。故障の原因となります。
- 寒い屋外から暖かい室内に入るなど急激な温度変化がある場合、結露の発生により正しく表示されない場合があります。
- 指定された種類の電池以外は使用しないでください。また、極性(+)、(-)を間違えないでください。故障の原因となります。
- 長期間使用しないときは本体から電池を取外し、保管してください。液漏れによる故障の原因となります。
- 新・旧、および異なる種類(アルカリ、マンガンなど)の乾電池を混ぜて使用しないでください。故障の原因となります。

カメラ直径	約8.0φmm	画像拡大率	×1.5 ×2.0
画像センサー	1/9インチ CMOS	ビデオフォーマット	NTSC、PAL
解像度	640×480 pixels	消費電力	最大1.5W
水平視野角度	約45±5°	外形寸法(約)	幅89×高さ180×奥行36 (mm)
カメラチューブ長	770mm	動作温度	-10～+50℃(結露が無い場所)
防塵防水性能	IP67準拠(ジョイント部を除く)	保管温度	-20～+60℃
電源	単三乾電池×4本(別売)	動作湿度	15～85%(相対湿度)
液晶サイズ	4.3インチTFT LCD	重量	約330g(電池を除く)

※上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

2 各部の名称



電池を入れる

1. 電池カバーのツメを押しながら、カバーを開きます。
2. 単三電池4本を+、-正しい方向に入れ、カバーを閉じます。

カメラチューブを出す

1. チューブボックスオープナーの上部、下部を押してカバーを開きます。
2. 本体に巻いてあるカメラチューブを取出し、チューブを挟まないようにカバーを「カチッ」という音がするまで押込んで閉じます。

■ 付属品一覧

ご使用前に下図の部品が全て揃っていることを確認してください。

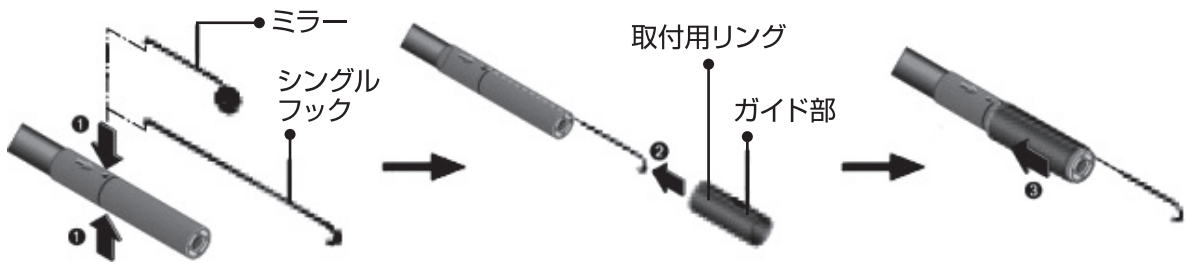


③ 使用方法

■ 付属品アタッチメントの取付方法

付属品一覧を参照し、取付けてください。

【付属ツールの取付方法】



1. 取り付けたいツールをカメラにセットする

取付けたいツールをカメラにセットする。シングルフック、またはミラーをカメラの穴①に差込みます。

2. 取付用リングをセットする

ツールをカメラに乗せた状態②で取付用リングのガイド部を合わせて通します。

3. ツールを固定する

取付用リングをしっかりと奥まで差込み、ツールを確実に固定③します。

【付属マグネットの取付方法】



1. マグネットを取付用リングに通す

カメラに取付ける前にマグネットは取付用リングのガイド部に合わせ、通しておきます①。マグネット部がリングに当たるまで通します。

2. リングに通したマグネットをカメラにセットする

マグネットのロッド部をカメラの穴②に差込みます。

3. マグネットを固定する

取付用リングをしっかりと奥まで差込み、マグネットを確実に固定③します。

■ 電源のON/OFF

電源ボタンを約3秒間押す

- 電源をONにするには、電源ボタンを押し続けると電源ランプが点灯し、液晶部に画像が映し出されます。
- 電源をOFFにするには、電源ボタンを押し続けると電源ランプが消灯してOFFになります。



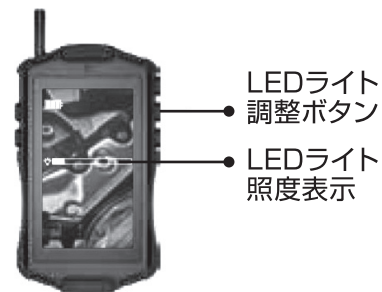
ビデオ出力端子について

本体のビデオ出力端子と外部モニター（市販品）をRCAピンプラグ付きビデオケーブル（市販品）で接続すると検査対象物の画像を外部モニターに映し出すことができます。

■ 暗いところで使うとき

LEDライト調整ボタンを押す

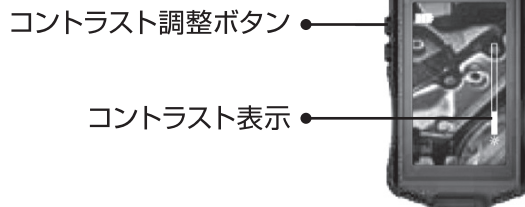
- 暗いところなどカメラの周囲光が不十分なときは、カメラの先端に付いているLEDライトを点灯させて使用します。
- LEDライトは1～8段階に調整できます。LEDライト調整ボタンを押すごとに明るくなり、8段階以上になるとOFFになります。



■ 液晶を明るくしたいとき

コントラスト調整ボタンを押す

- 画像が鮮明でないときは、TFTカラー液晶の明るさを調整することができます。
- コントラストは1～8段階に調整できます。コントラスト調整ボタンを押すごとに明るくなり、8段階以上になると0（標準）になります。



■ 画像を拡大したいとき

拡大ボタンを押す

- 検査対象物が小さく見えにくいときは、画像を拡大することができます。
- 拡大ボタンを1回押すと、1.5倍に拡大表示されます。もう一度押すと、2.0倍に拡大され、さらに押すと元の表示に戻ります。



■ 画像を回転させたい

画像回転ボタンを押す

- 検査対象物の画像を回転・反転して表示することができます。
 - 画像回転ボタンを1回押すと、上下回転表示されます。もう一度押すと、上下回転表示が反転され、もう一度押すと、元の表示を反転します。さらに押すと元の表示に戻ります。
- 【切り替わりかた：①上下回転⇒②上下回転の反転⇒③元の表示の反転⇒④元の表示】



カメラチューブを格納するとき

1. チューブボックスを開く（各部の名称参照）
 2. 図1の①にしっかりとチューブを当て、溝に沿わせる
 3. 図2の溝②に沿わせながらチューブを引込む
 4. 図3の溝、図1で沿わせた後ろ側の溝③に沿わせる
 5. 図4のホルダにチューブを収め、カメラを④の溝に当てる
 6. カバーを「カチッ」という音が出るまで押込んで閉じる
- ※閉まらないときは手順2からやり直してください。

